

## 地域計画

策定年月日	令和7年2月27日
更新年月日	令和8年3月19日 (第1回目)
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	郡山市 07203
地域名 (地域内農業集落名)	安積地区 (柴宮、荒井、南吉田、牛庭、成田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	379.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	379.0 ha
② 田の面積	344.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	34.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	33.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	158.0 ha
(参考)区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	84.1 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における80才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

## (2) 地域農業の現状及び課題

安積地区は、農業者の平均年齢69.79歳と高齢化が進み営農意欲が低下するなどにより、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民などを交え、機械利用組合や、法人、組合組織、集落営農組織を立ち上げる等の地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。

このため、分散する担い手の農地を集約するとともに、地域で取り組める新たな作物や栽培方法を検討していく必要がある。

- ・直売所向けの野菜を生産している割合が高い。
- ・郡山南インターが近く交通の利便性が良い。
- ・若い担い手が面積拡大したいと思える好条件の環境を整備する必要性を感じる。
- ・新規就農者が地区に入りやすい環境づくりが必要である。
- ・人手不足、労力不足が顕著になってきている。
- ・異常気象も原因の一つであるが水不足で現時点で営農が困難である農地がある。
- ・基盤整備未実施地区はほ場が狭いため、作業性が悪い。
- ・用水がなかなか下流までこないため、ポンプアップにより取水しているほ場もある。

## 【地域の基礎的データ】

農業者:255人(うち50歳代以下17人) ※農林業センサス2020より

団体経営体(法人・集落営農組織等) 5経営体

主な作物:水稲、露地野菜、施設野菜 等

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

認定新規就農者等地域内の後継者の育成や、機械の共同利用なども積極的に検討していくことや、地域内で法人や組合組織、集落営農組織等を設立することで後継者の確保を図るとともに、担い手への農地集約化のため、農業を担う者への農地再分配を進めることができるよう、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

また、地域の所得向上等の観点から、地域の話合いにおいて、直売所も近くにあることから少量多品目を取組むことや、ブランド化を図ること、6次化製品の開発すること、PR方法による付加価値をつけること等について関係機関と連携して取り組むこと等により、当地区の特色を出す取組みを行うことを積極的に検討する。

なお、高齢化の加速が進み、農業者一人当たりの作業負担も増加傾向になることが予測されるので、スマート農業を地域で取組み作業効率化・労働力の軽減を図り、地区内農業者の所得向上を目指す。さらなる作業効率化を図るため、当地区において基盤整備を行うことを強く要望していく。

- ・ 水稻農家及び園芸農家の農繁期や農閑期のサイクルを有効に活用し、地域農業を盛り上げるため、新規参入エリア等のゾーニングをすることや、仲間づくりのシステムを構築することを定期的な話合いによって進めるが、まずはモデル事例を検討する。
- ・ 守っていく農地の順番を検討し、そのエリアについては、農地水利環境の整備・維持が不可欠であるため、話合いによって行政機関等に要望等を行っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、認定新規就農者、農業法人、集落営農法人)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	39.5 %	将来の目標とする集積率	80 %
--------	--------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

令和11年度 団地面積の拡大を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

地域の農業を担う者に農地の集積・集約化をすすめ、団地面積の拡大を進めるとともに、農作業の省力化を図る。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

地区内の農地所有者が離農するなどの場合には農地中間管理機構等を活用し、機構に貸付を進めていく。  
また、農業を担う者が何らかの事情により営農の継続が困難になった場合には農地中間管理機構の機能を活用して、新たな受け手へ農地の貸付を進め、農地が荒廃しないよう努めていく。

(3) 基盤整備事業への取組

基盤整備未実施の地区は、借り手がなく農地の遊休化が進んでいるため、担い手一人当たりの負担増加も予想されることから、将来に向けてスマート農業が取り組みやすいよう、ほ場整備等の取組みを検討していく。また、多面的機能支払組織も活用し、農道・用排水路等の維持管理等を継続していき、担い手が効率的な農作業を行っていく環境を積極的に整えていく。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

農地を次の世代に引き継げるよう、話合いの場を定期的に持ち、地区内の新規就農者・後継者・定年帰農者などの担い手等情報の共有を図るほか、新規就農者が貸借しやすい農地(団地化)や農業用機械の活用、オペレータ育成を含め、地域全体で育成支援する。集落内農業者だけでは農地の保全は難しいと判断した際には、集落外からの入作者について農業を担う者に加えていき、地域ぐるみで技術などの支援を行うとともに、担い手確保・育成に努める。  
また、農業用機械や施設等の導入、更新等の際には補助事業等を活用するとともに、機械の共同利用なども積極的に検討していく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

地域内で農業支援サービス事業者等へ委託できる作業で可能なものがあれば順次委託することを検討する。



7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				備考
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	
1	認農 A	稲作	4.7 ha	ha	稲作	32.5 ha	ha	各地図に記載	
2	認農 B	稲作+施設野菜	0.0 ha	ha	稲作+施設野菜	0.4 ha	ha	各地図に記載	
3	認農 C	稲作	3.8 ha	ha	稲作	24.1 ha	ha	各地図に記載	
4	認農 D	稲作	3.9 ha	ha	稲作	44.9 ha	ha	各地図に記載	
5	認農 E	果樹	1.5 ha	ha	果樹	1.5 ha	ha	各地図に記載	
6	認農 F	稲作	1.4 ha	ha	稲作	8.0 ha	ha	各地図に記載	
7	認農 G	稲作	2.0 ha	ha	稲作	2.8 ha	ha	各地図に記載	
8	認農 H	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.7 ha	ha	各地図に記載	
9	認農 I	稲作+施設野菜	0.0 ha	ha	稲作+施設野菜	2.5 ha	ha	各地図に記載	
10	認農 J	稲作	0.8 ha	ha	稲作	1.4 ha	ha	各地図に記載	
11	認農 K	稲作	0.5 ha	ha	稲作	0.8 ha	ha	各地図に記載	
12	認農 L	稲作	0.2 ha	ha	稲作	0.2 ha	ha	各地図に記載	
13	認農 M	稲作	0.5 ha	ha	稲作	0.5 ha	ha	各地図に記載	
14	認農 N	稲作	0.4 ha	ha	稲作	0.4 ha	ha	各地図に記載	
15	認農 O	稲作+施設野菜	0.0 ha	ha	稲作+施設野菜	0.5 ha	ha	各地図に記載	
16	認農 P	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	各地図に記載	
17	認農 Q	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha	各地図に記載	
18	認農 R	稲作	0.4 ha	ha	稲作	0.4 ha	ha	各地図に記載	
19	認農 S	稲作	0.2 ha	ha	稲作	0.2 ha	ha	各地図に記載	
20	認農 T	稲作	0.2 ha	ha	稲作	0.2 ha	ha	各地図に記載	
21	認農 U	稲作	16.2 ha	ha	稲作	44.2 ha	ha	各地図に記載	
22	認農 V	露地野菜	0.1 ha	ha	露地野菜	0.1 ha	ha	各地図に記載	
23	認農 W	稲作	0.3 ha	ha	稲作	8.9 ha	ha	各地図に記載	
24	認農 X	稲作	0.1 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha	各地図に記載	
25	認農 Y	稲作+施設野菜	2.3 ha	ha	稲作+施設野菜	6.7 ha	ha	各地図に記載	
26	認農 Z	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha	各地図に記載	
27	認農 AA	稲作	0.2 ha	ha	稲作	0.2 ha	ha	各地図に記載	
28	認農 AB	稲作+雑穀・いも類	3.9 ha	ha	稲作+雑穀・いも類	5.4 ha	ha	各地図に記載	
29	認就 AC	稲作+露地野菜	0.6 ha	ha	稲作+露地野菜	0.7 ha	ha	各地図に記載	
30	認就 AD	イチゴ	0.4 ha	ha	イチゴ	0.3 ha	ha	各地図に記載	
31	認就 AE	施設野菜	2.0 ha	ha	施設野菜	2.0 ha	ha	各地図に記載	
32	認就 AF	稲作	0.0 ha	ha	稲作	5.8 ha	ha	各地図に記載	
33	利用者 AG	稲作+露地野菜	0.0 ha	ha	稲作+露地野菜	0.2 ha	ha	各地図に記載	
34	利用者 AH	稲作	1.3 ha	ha	稲作	1.3 ha	ha	各地図に記載	
35	利用者 AI	稲作	0.6 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	各地図に記載	
36	利用者 AJ	稲作	1.0 ha	ha	稲作	1.6 ha	ha	各地図に記載	
37	利用者 AK	稲作	1.0 ha	ha	稲作	1.3 ha	ha	各地図に記載	
38	利用者 AL	稲作	2.6 ha	ha	稲作	7.5 ha	ha	各地図に記載	
39	利用者 AM	稲作	4.0 ha	ha	稲作	4.0 ha	ha	各地図に記載	
40	利用者 AN	稲作	2.8 ha	ha	稲作	2.8 ha	ha	各地図に記載	
41	利用者 AO	稲作+イチゴ	2.2 ha	ha	稲作+イチゴ	2.2 ha	ha	各地図に記載	
42	利用者 AP	施設野菜	0.7 ha	ha	施設野菜	0.7 ha	ha	各地図に記載	
43	利用者 AQ	稲作	0.0 ha	ha	稲作	1.5 ha	ha	各地図に記載	
44	利用者 AR	稲作	0.0 ha	ha	稲作	1.0 ha	ha	各地図に記載	
45	利用者 AS	稲作	1.7 ha	ha	稲作	1.7 ha	ha	各地図に記載	
46	利用者 AT	稲作	1.7 ha	ha	稲作	0.7 ha	ha	各地図に記載	
47	利用者 AU	稲作	0.5 ha	ha	稲作	0.5 ha	ha	各地図に記載	
48	利用者 AV	稲作	0.9 ha	ha	稲作	1.8 ha	ha	各地図に記載	
49	利用者 AW	稲作	1.7 ha	ha	稲作	1.1 ha	ha	各地図に記載	
50	利用者 AX	稲作	1.5 ha	ha	稲作	1.5 ha	ha	各地図に記載	
51	利用者 AY	露地野菜	0.1 ha	ha	露地野菜	0.1 ha	ha	各地図に記載	
52	利用者 AZ	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.2 ha	ha	各地図に記載	
53	利用者 BA	稲作	0.5 ha	ha	稲作	0.5 ha	ha	各地図に記載	
54			ha	ha		ha	ha		

## 目標地図の見方

「目標地図」は、地域計画の中で「農業を担う者」として位置付けられた方が、将来（おおむね10年後）、具体的にどの農地を耕作する見込みなのかを、地図で表したものです。

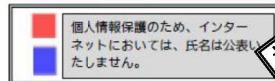
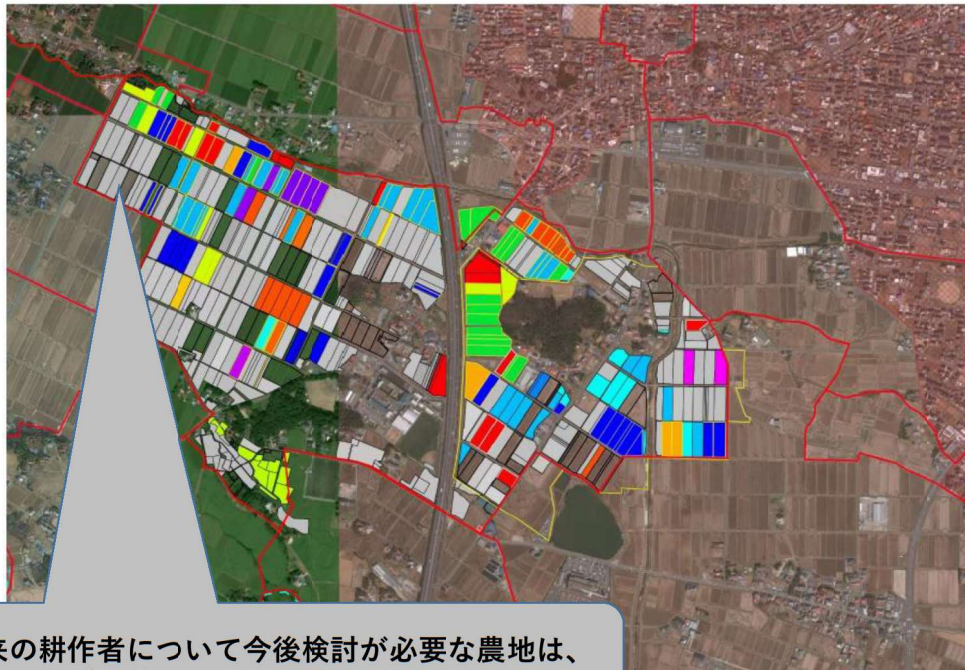
地図は、人・農地プランまたは農業集落単位で作成しています。

地域計画上の「農業を担う者」の氏名と、地図上の色を示しています。  
枠の色は、地図上の農地の枠線の色を表しています。

※農業を営んでいても、地域計画上の「農業を担う者」になっていない方の氏名は、記載されておりません。

※枠囲みは、地図の作成作業の過程でランダムに決定しており、何らかの基準等によりグループ分けしたものではありません。

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0106	大槻町	【プラン】大槻町山下	2024/12/27



枠線が黒色の農地

枠線が黄色の農地

枠線が白色の農地

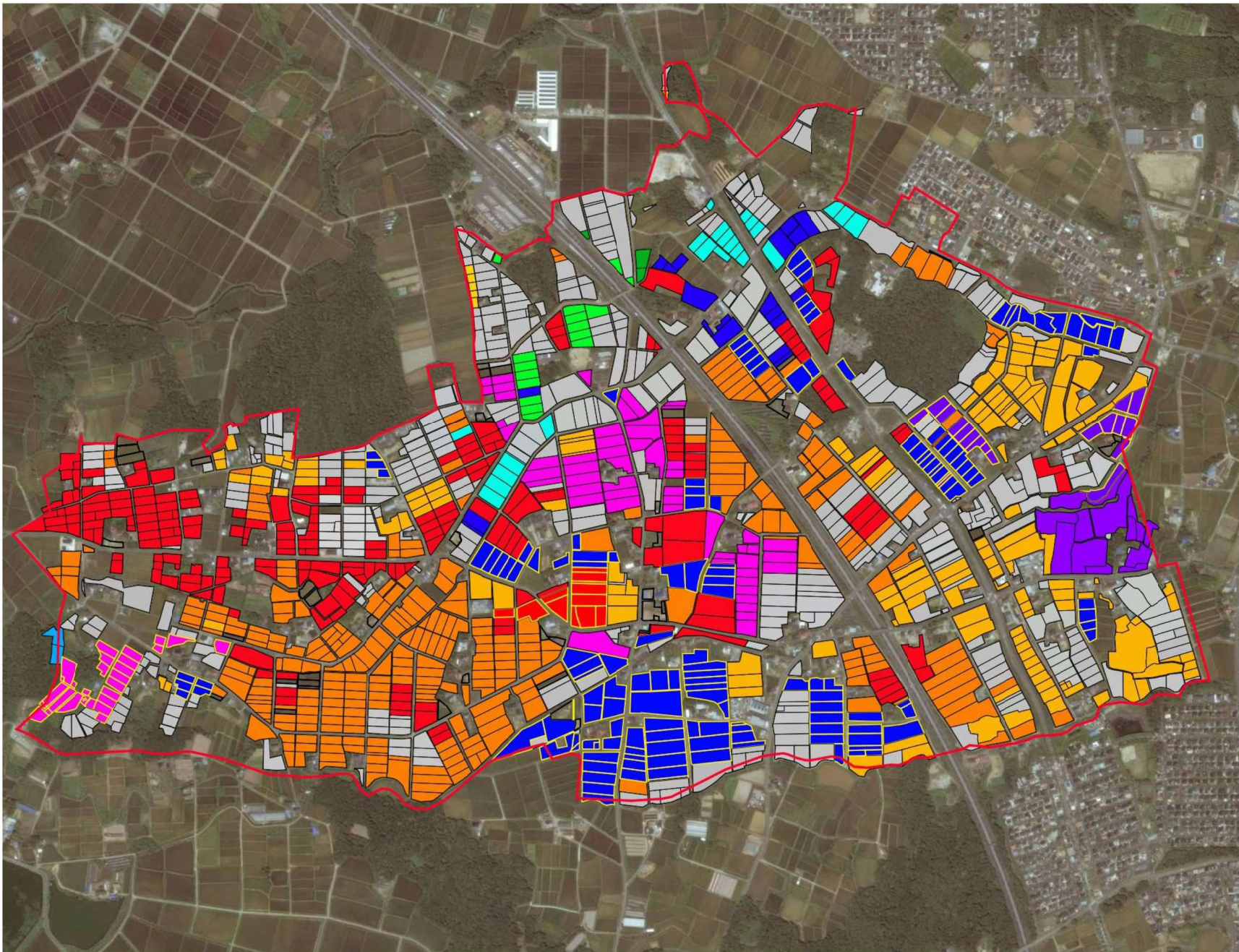
将来の耕作者について今後検討が必要な農地は、着色されず、枠のみの表示となっています。

■ 上記以外の耕作者の方  
※着色の無い農地は今後検討

地域計画上の「農業を担う者」になっていない農業者の方が耕作予定の農地は、グレー（灰色）で表示しています。

二重線の枠は、地図上の農地の枠が白色の農地を表しています。

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0302	安積町	【集落】豊田村_001_牛庭	2026/1/30



個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

- Red
- Pink
- Purple
- Blue
- Cyan
- Green
- Yellow
- Orange

個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

- Red
- Pink
- Purple
- Blue

Grey: 上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0304	安積町	【集落】永盛町_003_荒井	2026/1/30



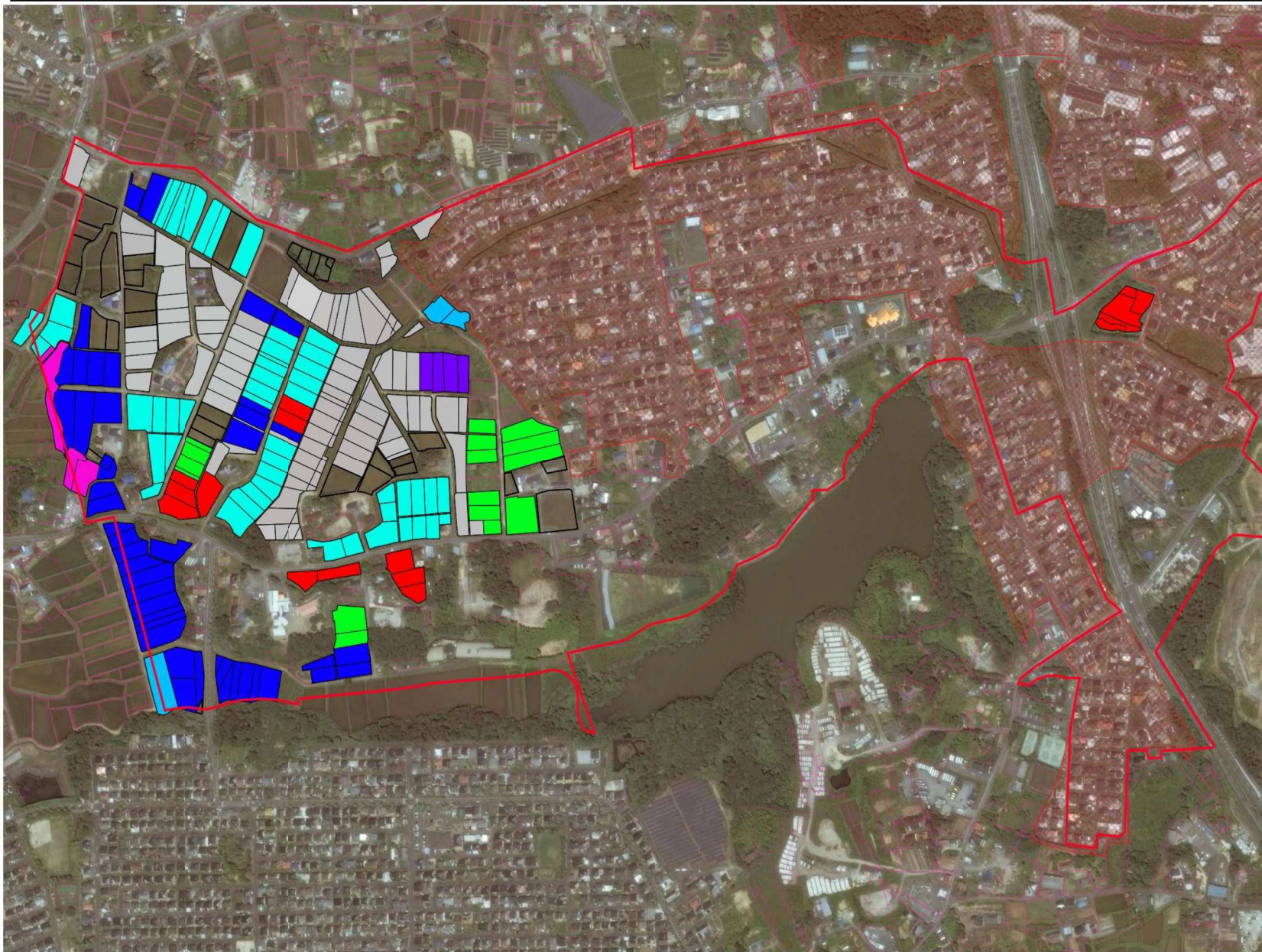
個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。



■ 上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0307	安積町	【集落】永盛町_008_南吉田	2026/1/30



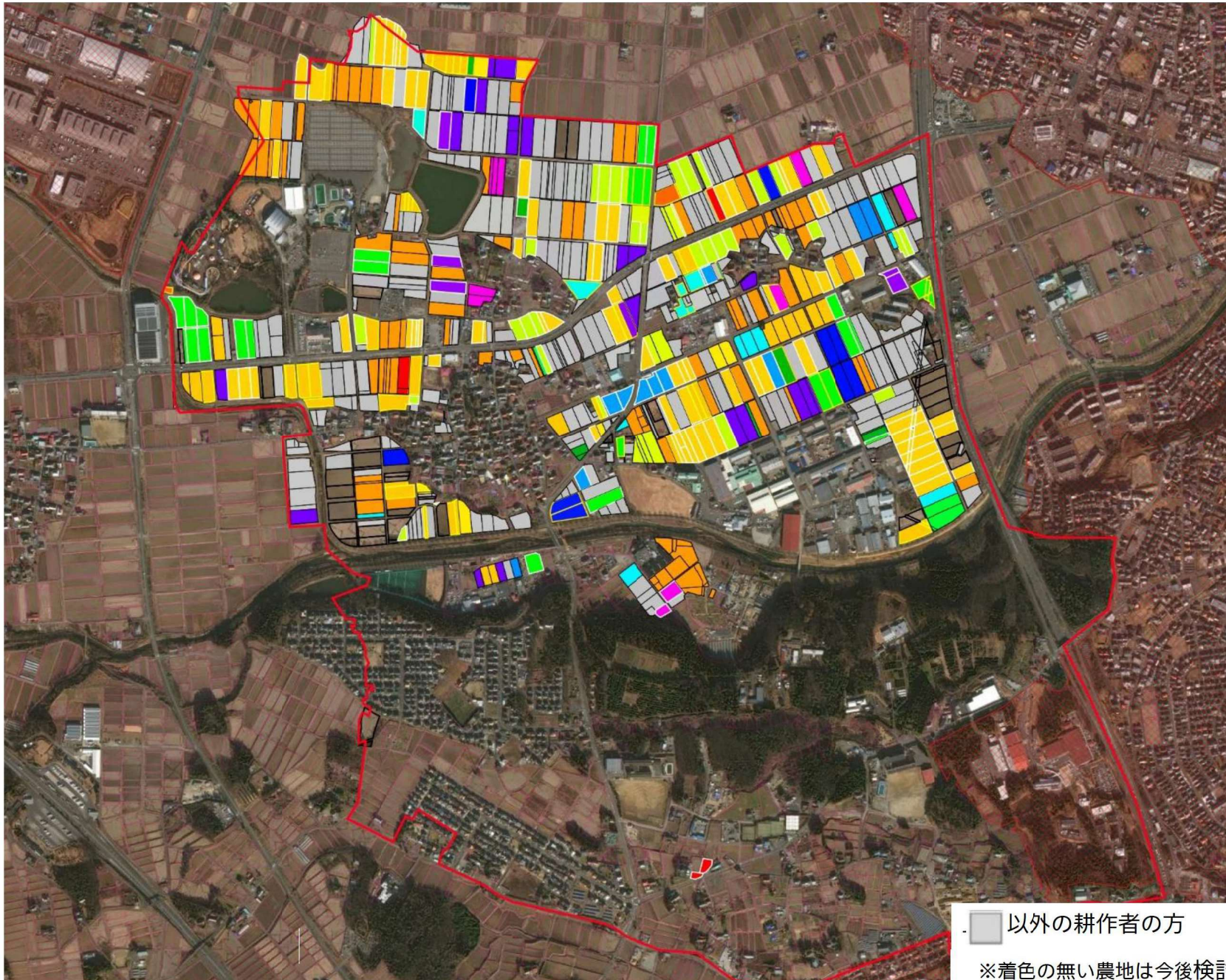
個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。



上記以外の耕作の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0308	安積町	【集落】豊田村_002_成田	2026/1/30

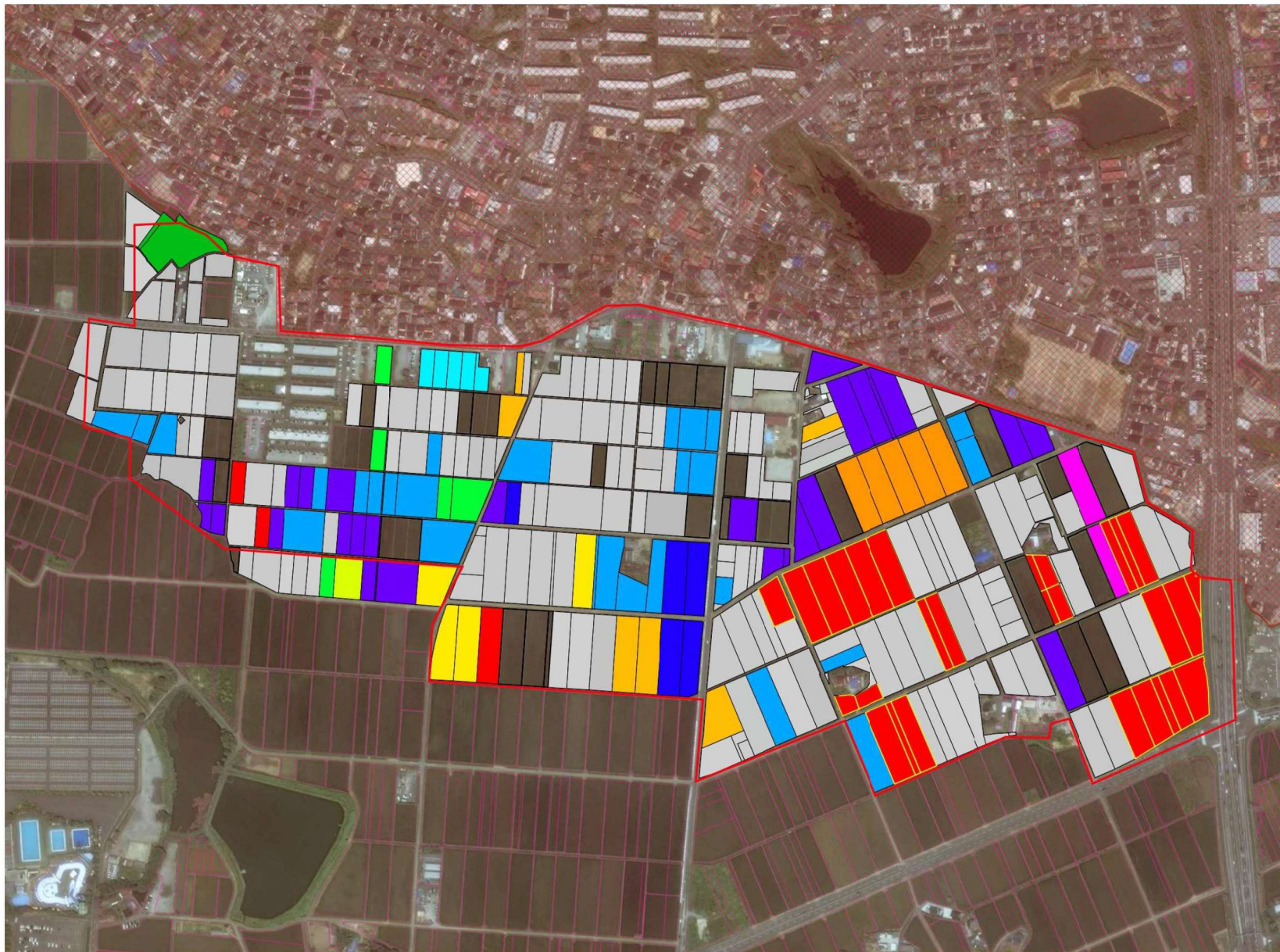


個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0309	安積町	【集落】永盛町_001_柴宮	2026/1/30



個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討